

サルの苑タイムズ

塗り絵参加者を顕彰

(今年度上期塗り絵大会)



優秀賞十四点表彰

「夏の思い出」をテーマに実施した今年度上期・塗り絵大会は各ユニットの巡回展示が終了し、このほど参加作品の表彰を行いました。

今回は、各ユニットから二十一名の利用者様が参加され、盆踊り、花火大会など、夏の風物詩を色鮮やかに仕上げた作品の中から、優秀賞に十四点、優良賞に七点の作品が選ばれました。



皆様にはそれぞれ表彰状と記念品を贈らせて頂きました。

皆様には、この場をお借りして感謝申し上げます。また、次回、下期(十二月予定)塗り絵大会には、多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。



令和4年8月15日発行
第95号

〒370-0002
高崎市日高町433-1
TEL: 027-329-7211

社会福祉法人健康生会
特別養護老人ホーム
高崎花の苑広報委員会

地域掲示板

中尾中生徒らが壁画制作



新高尾地区地域づくり活動協議会が、地域防犯対策の一環で取り組んでいる「壁画制作」がこのほど、中尾中学校生徒と新高尾小学校児童の皆さんによって実施されました。



今回は、新高尾地区内で閑遊自動車道高架下のボックスカルバート(トンネル)で、県道井野停車場線高崎14BOXで、日頃地域住民が頻りに利用するトンネル。生徒及び児童たちは、真夏の炎天下の中、トンネル内で安全対策を講じながら制作作業に取り組んでいました。

「短歌大会」に応募

社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会が主催する令和四年度「心豊かに歌う全国ふれあい短歌大会」の募集がこのほど締め切られ、高崎花の苑からは今回、職員二名の応募がありました。入賞作品の発表は十一月下旬。応募者の全作品は来春に刊行される短歌集に掲載されます。応募作品は次の通り。

『介護職員の部』

●「風呂は嫌」「食事は嫌」と言いつつも「あなたが嫌」とは言わぬ優しさ

●「あなたをね 一番好きよ 始めから」 嬉しい口癖 今日頑張れる

(Y)

●細き手で 短冊結ぶ 笹の葉に 願ひしことの叶わぬままに

●日曜の 午後の施設に オルゴール 静かに人の訪れもなく

(N)

カメラスケッチ

市内鼻高町の展望花の丘では、夏の風物詩の一つ、向日葵(ひまわり)が訪れた人の人気を呼んでいます。

この日(七月三十一日)早朝、爽やかな風を受けて、太陽に向かってたくましく咲くひまわり畑をカメラに収めました。



ユニット短信



●「夏生まれ誕生祝い」
B・Cユニットでは7月、8月生まれの利用者様に誕生日プレゼントをお渡ししました。どんなものなら喜んで頂けるか、職員が悩んで選んだプレゼント。さっそく身に着けて記念撮影をしたりと皆様の笑顔に職員も嬉しい気持ちになりました。



●「力作のひまわり畑」
E・Fユニットの季節に合わせた壁飾り。現在はこの時期にぴったりのひまわりが飾られています。

す。黄色と茶色のお花紙を使い、花びらの形になるようにカット。利用者様にもお手伝い頂き、たくさん花を作り、ひまわり畑を表現しました。



「夏野菜栽培プログラム」が終了

A・Sユニットが実施した「夏野菜栽培プログラム」は、所期の目的を達成したことにより、このほど終了しました。

同プログラムは、トマト、胡瓜、茄子などに代表される夏野菜をプランターで栽培し、苗の植え付けから収穫までの間、職員がサポートし、利用者様にはできる範囲で関与して頂く取り組み。その上で、新鮮な夏野菜に

触れたり、食したりといった体験を通じ、季節感を味わってもらうことが目的です。

ここでは、五月十二日にスタートして以来、記録していた栽培日誌から、折々の様子を一部を抜粋して掲載します。

五月十二日（木）

「夏野菜栽培プログラム」が始動。新井明様、遊佐盛夫様、倉橋カツ子様、菊池智様、反町美佐子様に参加され、トマトの苗を植え付け、居合わせた

職員とともに記念のカメラに収まる。

五月二十日（金）

新井明様が若林看護師とトマトの栽培状況を観



察。茎と支柱を繋ぐ紐がアルミであったため、布製の紐に変える様、指示。午後、遊佐盛夫様が安達職員と胡瓜などの生育を観察。以後、遊佐様が胡瓜の観察担当に。

五月二十七日（金）

菊池智様、遊佐盛夫様が胡瓜の摘果作業に協力。摘果した胡瓜は、リビングで職員が簡単に調理し皆で食す。新鮮な香りで美味しいと好評。

六月二日（木）

夕方から天候が急変。県



西部を中心に雹（ひょう）が降り、トマト、胡瓜に一部被害あり。

六月二十三日（木）

船田隆一様、倉橋カツ子様、林相談員とともに胡瓜、茄子を収穫。収穫した胡瓜はリビングで召し上がって頂く。「とても旨かった！」との感想。

七月四日（月）

トマトの発育が悪く、退院された新井明様に相談。高温続きで「水が少ないうちから」とのことで。例年になく高温状態が夏野菜に大きなダメージを与える。この経験を後に生かしたいとの声。

七月三十日（土）

様々な試行錯誤と想い出を刻み、今年度「夏野菜栽培プログラム」を終了。

委員の一言メモ



★この暑い夏がいつまで続くのかと思うと・・・溜息が出てしまいますね・・・
（山）★ユニット内に大輪の向日葵がたくさん咲きました。夏の厳しい日差しに負けないよう、向日葵と一緒に頑張りたいと思うます（理）★雨や雷が多い時期になりましたね。夕方になると、利用者様と空を眺め、入道雲を探しています（麻）★暑さ続きで、夕食作りが面倒で「流しそうめん」を思いつき、ウオーター 슬라이ダーをセッティングしたら、片付けの方が大変でした（円）★猛暑の中、外出を控え、エアコンをかけて映画鑑賞の日々。それはそれでとても楽しい時間です（由）★夕方になっても暑いこの時期。雨が降らないものかと天気予報ばかり見ている（美）★県老協の広報コンテストに今年も二部門（広報紙・フォト）に応募。昨年は優秀賞、佳作を受賞。果たして今回は？（井）